仕事と信仰

「牧師」っていちばんいい仕事？

関西で「Lightプロジェクト」スタート

信仰と仕事ミニストリー「Lightプロジェクト」（ディレクター・サックス知子）の『信仰と仕事』ワークショップ」が、関西地区でもスタートした。同ワークショップは、一般社会で働くクリスチャンが抱えている仕事の課題や葛藤を話し合い、コミュニティーに励まされながら、聖書と神様からの導きを一緒に探求するというもの。10月19日、同プロジェクト関西ディレクターの島谷知明さん（マスタードシードクリスチャン教会神戸協力牧師）が兵庫県神戸市中央区の同教会で関西における第1回目のワークショップを開催した。「仕事は必要悪？」をテーマに2人の社会人クリスチャンが証しをし、それを受けてのグループディスカッション、島谷さんによる聖書の学びがあった。

◇　◆　◇

「Lightプロジェクト」の名古屋と神戸の「信仰と仕事」訓練コースで学んだ2人が証しをしてくれた。最初の証し者は、愛知県名古屋市在住の森本聖美さん（All Nations Fellowship 会員）。森本さんは、外国人に日本語を教える教師として働く。「1年前から非常勤の日本語教師としての働きを始めた。工場で働く技能実習生と、これから大学や専門学校で学びたいと志している留学生を対象に、二つの学校に教えに行っています」

森本さんは、名古屋コースでの学びについて分かち合った。「信仰と仕事の二元性について学んだ。二元性は神聖なものと俗なるものを分ける壁で、主のために行われる仕事だけがキリストを喜ばせ、教会生活をしている時だけ自分をクリスチャンと考える。自分もどこか特別な存在に感じていて、毎週教会に行き、神様を賛美し、平日は我慢して働く二重生活という感覚があった」

「仕事と信仰の方法についても学んだ」と言う。

「職場は神様の業を見られる場所であり、クリスチャンでない人は隣人である。偶像に抵抗し、生活のすべての側面に見られる正義、知恵、真理、義の現れを満たす祝福がある、と。学びを通じてすべての人、職場に神様の働きがあることに気付いた」

「コースを受けて、神様と私たちの体がつながっていることを再認識した」と森本さん。「私たちがそこにいるだけで、神様の光を世に届けることができると思う。働く人たちとその職場に神様の祝福がありますように」と結んだ。

次に、兵庫県尼崎市在住の大原早人さん（改革長老・武庫之荘教会員）が証しをした。大原さんは社会人20年目。最初に工業製品を販売する、名古屋にある外資系の商社に就職。その後、関西に転勤になり、また映像機器メーカー、工業用のプリンターメーカーのサービスADなど、二度転職を経験。11月から4社目に転職。「船舶関連の会社で、そこで技術サポートの仕事をすることになっている」と語った。

大原さんは、「牧師になることがいちばん良い仕事だと思い込んでいた」と明かす。「私は尼崎市にある日本改革長老教会に属している。日本改革長老教会は神学教育に力を入れている教派で、神戸三宮に神戸神学館という神学校をもっている。私は週3日、仕事をしながらここの夜間の伝道者コースで4年間学んできた。その間、私は牧師になることがいちばんいい仕事で、今している仕事は家族を支えるためなんだと思っていた。学び始めた時は42歳で、早く牧師にならないと、その後に伝道する時間が足りなくなるのではないかと焦っていた」

そんな大原さんに、神学校時代の恩師の一人は、最初の会社を辞める時にこうアドバイスしてくれたという。「君が仕事をしながら神学を学ぶことに時間とエネルギーを注ぐのは大変かもしれない。会社で嫌になることがあるかもしれない。でも、仕事を頑張りながら伝道者コースを修了するほうがいいのではないか」

大原さんはその時、まだこの言葉を正しく理解できていなかったと語る。「とにかく自分は宣教者を目指していて、日々の糧を得るための仕事よりも優先されて然るべきものだ」と考えていた。

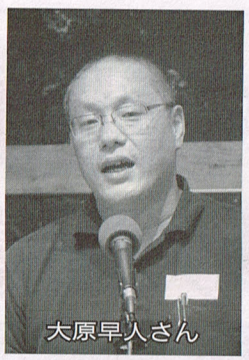
同プロジェクトの神戸での「信仰と仕事」訓練コースでの学びで、考え方がまるっきり変わったと言う。「仕事に対してゆがんだ見方をしていたことに気付いた」

「聖い仕事と俗な仕事という見方を持っていて、その見方が私の行動をそのまま決定していた。神様が私たちに与えてくださっている仕事がどういうものか、という仕事像をちゃんと持っていなかった」、「仕事は神様の創造から発している。しかし、私はゆがんだ考え方を持っていた。自分の仕事観をもう一度考え直さないといけないと思うようになった」、『仕事そのものが神様によって与えられたものである。仕事そのものが祝福なのだ』と。そして、仕事に縛り付けるために神様は仕事を与えられたのではない、仕事では普通の社会人で教会では信仰者という二面性はおかしい、仕事の場でも自分はイエス・キリストに贖われた者だ、ということを痛切に感じました」

「今は私に与えられた仕事の中で、どれだけ神様と一緒にいることができるか、そして神様の愛を実践することができるか、ということを選んでいきたい」と結んだ。（つづく）【中田　朗】

URL www.lightproject.jp

森本聖美さん


大原早人さん

ワークショップの説明をする島谷さん

仕事は必要悪？（上）